

第3回東海地区学術データ基盤セミナー  
第5回研究データエコシステム東海コンソーシアムセミナー  
合同セミナー 2024.12.03

# 研究データエコシステム 東海コンソーシアムの活動と展開

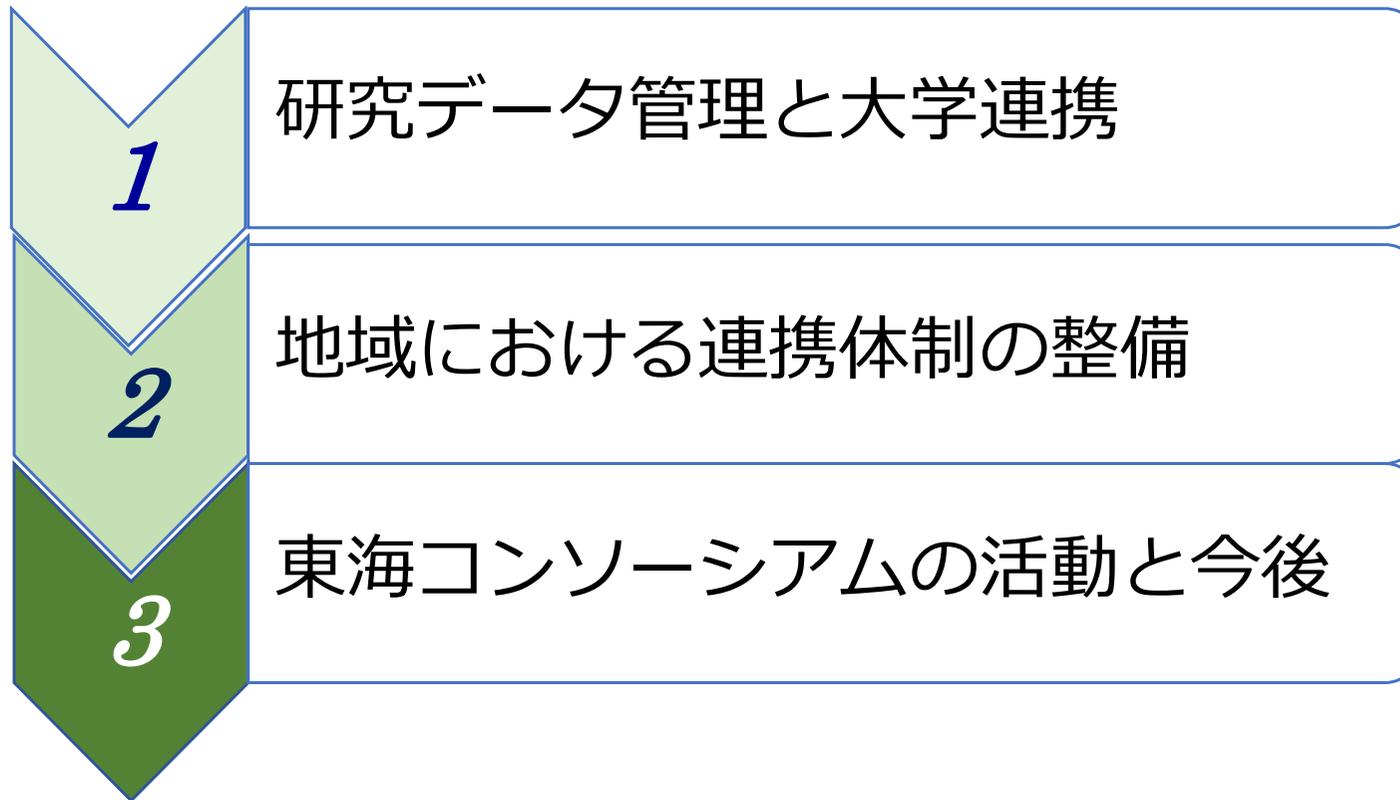
---

松原 茂樹

名古屋大学 情報基盤センター

# 講演の内容

- 研究データエコシステム東海コンソーシアムの現状



# 研究データの管理とガバナンス

## 大学における研究データ管理

- 現状** 研究者/研究Grが設けた基盤 (システム, ルール) で推進
- 今後** 大学が提供する基盤で構成員がRDMを推進



構成員が**安全**かつ**効率**よく研究し大学の**研究力**を高める仕組み  
(= **研究データガバナンス**)

# 大学の研究データガバナンス：これまで

- 現存するルール/ポリシー
  - 研究データ保存の学内規程

研究資料等（試料及び標本を除く。）の保存期間は、原則として、当該論文等の発表後10年間とする。

○名古屋大学における研究上の不正行為に関する取扱規程（第6条）

- オープンアクセスポリシー

名古屋大学は、本学に在職する教職員による学術論文（共著を含む。）を可能な限り、広く無償で公開する。

○名古屋大学オープンアクセスポリシー

# 大学の研究データ管理：政策的動向



第6期科学技術・イノベーション基本計画（2021）

公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方（2021）

## 統合イノベーション戦略推進会議

データポリシー策定

機関リポジトリへのデータ収載

研究データ人材・支援体制の整備

信頼性の高い研究データストレージの提供



科研費公募要領



公的資金による学術論文等のオープンアクセスの実現に向けた基本的な考え方（2023）

## 科研費 令和6年度交付分

DMPの作成（2024～）

## G7 科学技術大臣会合

即時OA（2025～）

# 研究データエコシステム構築事業

研究データ基盤高度化チーム  
NII Research Data Cloudを  
7つの側面から機能拡張

NII リーダ機関

研究データ基盤の機能実装

**活用** **コード付帯機能**

データ・プログラム・解析環境の  
パッケージ化と流通機能を提供し、  
研究成果の再現性を飛躍的に向上

**信頼** **データプロビナンス機能**

データの来歴情報の管理から利用  
状況を把握でき、データ公開へ  
のインセンティブモデルを提供

**蓄積** **セキュア蓄積環境**

安全で強固なデータの保存・保護機  
能を有する超鉄壁ストレージを提  
供し、機微な情報も安心して保全

セキュア蓄積環境



**データガバナンス機能** **管理**

計画に基づきデータ管理等を機械  
的に支援し、DMPをプロジェクト  
管理に不可欠な仕組みへと変革

**キュレーション機能** **流通**

専門的なキュレーションを実践  
できるエコシステムを構築し、  
データ再利用の促進に寄与

**秘匿解析機能** **保護**

秘密計算技術で機微な情報も安心し  
て解析できる環境の提供で、新しい  
データ駆動型研究の世界を開拓

**人材育成基盤** **育成**

RDMに必要なスキルを学ぶ環境  
を提供し、全ての研究者を新しい  
科学の実践者へと育成

人材育成基盤

プラットフォーム連携チーム

**理化学研究所**  
RIKEN

リーダー機関

- ・ 機関内サービス等とNII RDCの連携機能の整理と設計
- ・ 計測機器等からの大量データを効果的に管理するための要件整理と機能開発
- ・ 管理対象となるメタデータの設計と実証
- ・ 関連する高度化機能との仕様調整と共同開発

融合・活用開拓チーム

**東京大学**  
THE UNIVERSITY OF TOKYO

リーダー機関

- ・ 異なる分野間でのデータ活用やデータ連携に発展する取り組みを精査
- ・ 異なる分野間でのデータ活用やデータ連携に関する具体的なユースケースを創出
- ・ ユースケースをまとめたツールキットの作成とそれを用いた広報活動

ルール・ガイドライン整備チーム

**名古屋大学**  
NAGOYA UNIVERSITY

リーダー機関

- ・ 研究データの活用に適した機械可読データの統一的な記述ルール設計
- ・ 研究データの公開に必要な要項や作業フローの整備
- ・ 研究データを適切に取扱うための指針のまとめ
- ・ 学内整備のための事例形成

人材育成チーム

**大阪大学**  
OSAKA UNIVERSITY

リーダー機関

- ・ 人材育成を主とした研究データ管理体制の構築を推進する学内組織構築の事例形成
- ・ 研究データ管理人材に求められる標準スキルに関する検討
- ・ 研究データ管理人材育成のためのカリキュラムの作成、オンライン学習コースの整備

中核機関群の代表からなる運営委員会が全体を統括し、研究データエコシステムの全国展開に向けて共同実施機関を随時拡大

基盤の活用に係る環境整備

# データポリシーの策定の現状

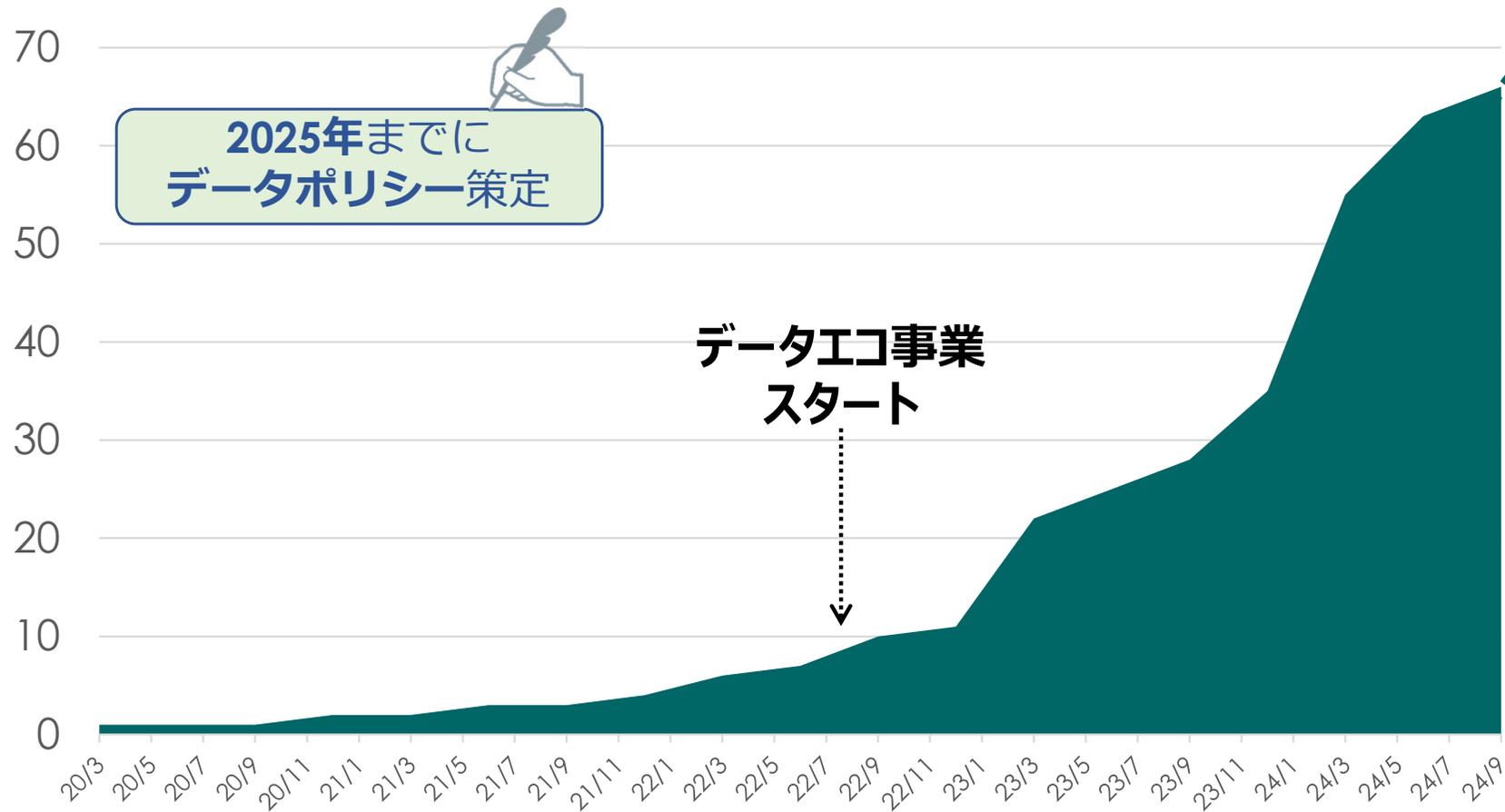
## 国内大学の研究データポリシー（一覧）より

AXIES-JPCOAR 研究データ連絡会

<https://sites.google.com/view/axies-jpcoar/>

### データポリシーを策定した大学（2020/3～2024/11）

**91** 校



# スタートアップ支援事業

中核機関群：司令塔機能を果たし、各拠点大学と連携し相談等に対応する

NII

理化学研究所

東京大学

名古屋大学

大阪大学

✓迅速な相談、密な連携  
✓現状課題の共有

各地域におけるコミュニティ：核となる拠点大学が支援機関としてリード

● 全国に、拠点大学を作って中核機関群が支援し、各拠点大学が地域の多様な大学・研究機関を支援

● 潜在需要が想定される大学も含め、コミュニティを広げていく

2024年度開始予定：

- ・中国四国地区（広島大学）
- ・九州地区（九州大学）

2025年度開始予定：

- ・北海道地区（北海道大学）
- ・東北地区（東北大学）

2023年度開始済：

- ・東海地区（名古屋大学）
- ・北陸地区（金沢大学）

2023年度活動（抜粋）

- ・コンソーシアム設立
- ・セミナー開催
- ・支援チームの派遣
  - \* データポリシー策定
  - \* セミナー講師派遣
  - \* 学内アンケートの実施・分析

# 大学の研究データ管理：地域での対話



## 第1回 東海地区 学術データ基盤セミナー

2022/12

図書館・研究推進・教育推進・産学連携・大学IR・情報基盤などの担当者が集まり、大学の研究データ管理（=RDM）のあり方を議論

- **トピック**：行動計画、データ管理教材、データアクセス
- **参加者**：約**100**名（東海地区から**18**機関）  
※ 対面参加者との情報交換会を開催

### （情報交換会の参加者の意見【抜粋】）

- 大学におけるRDMの理念や必要性は理解するが推進するための**新たな体制**の整備は難しい
- RDM推進の**資源（人材/システム/資金/ノウハウ）**が不足しており、単一の大学での推進は難しい

RDM推進資源を相互利用する**大学連携**の可能性

# 東海コンソーシアム構想の表明



## 第2回 東海地区 学術データ基盤セミナー 2023/07

### ・トピック：体制整備、ポリシー、研究データ基盤

**データポリシー策定までのタイムテーブル**

2021 11月	2022 1月	2022 6月	2022 9月	2022 9月	2022 11月	2022 12月	2023 1月	2023 2月	2023 3月	2023 4月
研究データ管理検討WGの設置	第1回WG（設置の経緯、ミッションアンケートのたたき台 情報共有）	アンケート調査（研究データ管理・公開等に関する） 1か月	第2回WG（研究データポリシー（案）の作成）	メール審議（研究データポリシーの補足・解説（案）の作成方針）	小WGで議論（研究データポリシーの補足・解説（案）の作成）	第3回WG（研究データポリシーの補足・解説（案）の承認）	学術研究会議にて承認（研究データポリシーおよびその補足・解説の案）	学長へ説明↓第4・5回WG（法規チームなども確認し、最終案完成）	学内の種々の会議にて、研究データポリシー承認	研究データポリシー公開

**先行する大学の研究データポリシーの比較調査** 同志社大学 Doshisha University

先行する6大学（京都大学、名古屋大学、東京工業大学、東北大学、慶応義塾大学、神戸大学）の研究データポリシーおよび解説文書を比較調査し、参考とした。

名称	A	B	C	D	E	F	G
研究データ							
研究者							
研究者の権利と責務							
大学の役割							

### 愛媛大学の事例

<http://hdl.handle.net/2237/0002006771>

### 同志社大学の事例

<http://hdl.handle.net/2237/0002006770>

・参加者：約**200**名（東海地区から**24**機関）

### （情報交換会の参加者の意見【抜粋】）

- ・データポリシーを作り上げるには、多大な知識と時間が必要  
→ ポリシー策定の**知識とノウハウの共有**は効果的

# コンソーシアムの目的



## 研究データエコシステム東海コンソーシアム

### 【目的】

東海地域の学術機関が連携し  
研究データエコシステムの  
整備、普及、利用促進

会員機関の懇談会開催

セミナーの開催

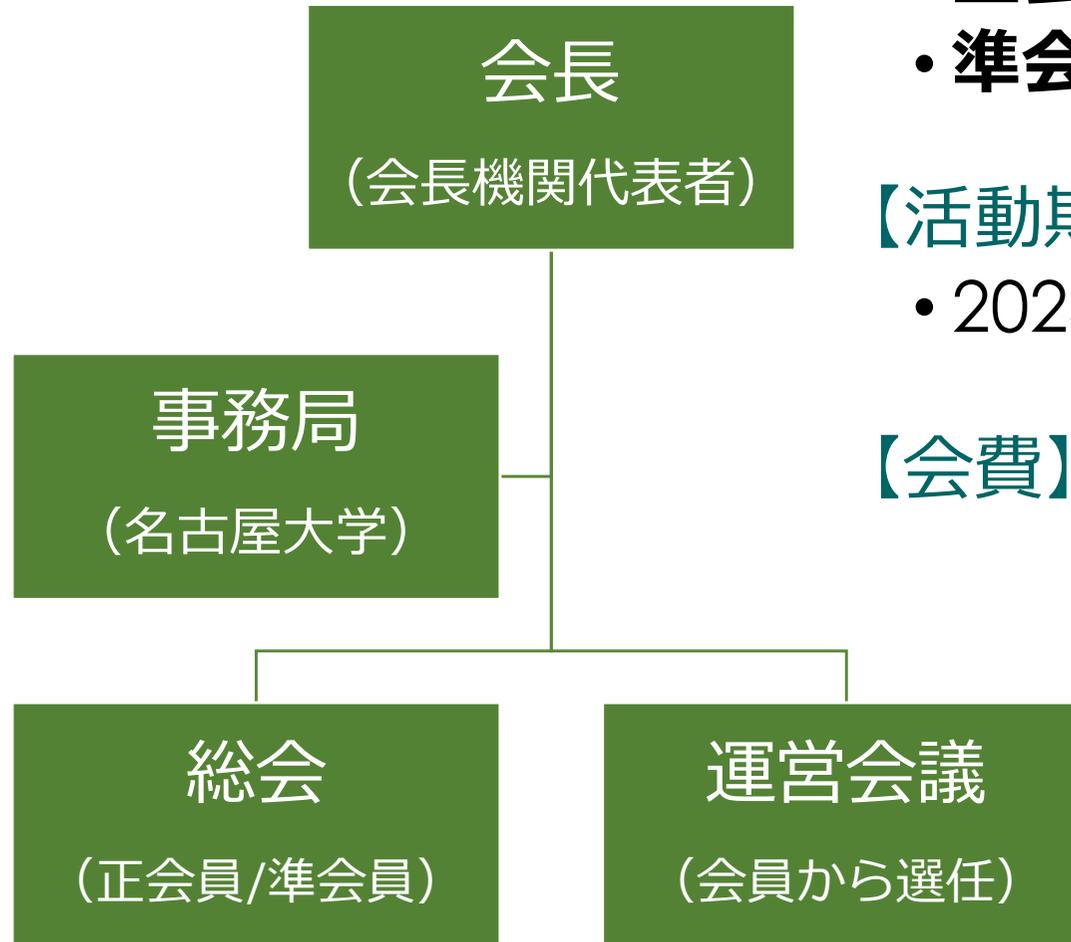
支援チームの派遣

RDM資源の共用

成果の全国展開・普及

# コンソーシアムの会員と体制

## 【運営体制】



- 成果と計画の承認
- 総会で議決権を行使

【会員】 ※東海地域に限定しません

- **正会員**：大学・研究所等の機関
- **準会員**：上記機関に属する部署

【活動期間】

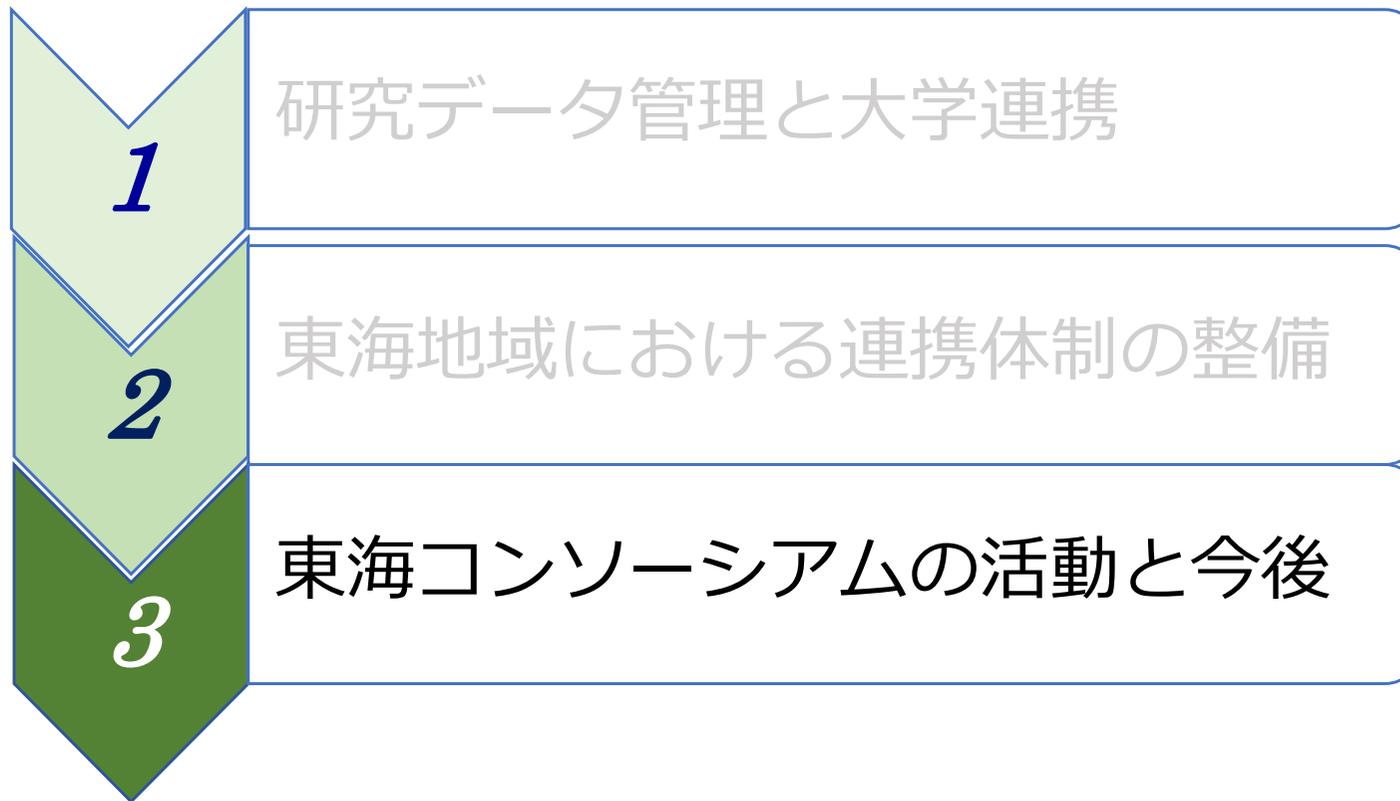
- 2023年度～2026年度

【会費】 **不要**

- 成果の集約と計画（予算を含む）の立案
- 正会員または準会員から選任

# 講演の内容

- 東海地域における“研究データ管理の大学連携”



# コンソーシアム会員機関

- 会員機関：**28** 機関/部署 (2024.11現在)



## 正会員

- 愛知教育大学
- 愛知県立芸術大学
- 愛知県立大学
- 愛知東邦大学
- 核融合科学研究所
- 岐阜大学
- 金城学院大学
- 皇學館大学
- 豊橋技術科学大学
- 長岡技術科学大学
- 名古屋工業大学
- 名古屋大学
- 浜松医科大学
- 三重大学
- 三重短期大学

## 準会員

- 愛知工業大学 附属図書館
- 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 大学総務課
- 金沢大学 学術メディア創成センター
- 金沢大学 附属図書館
- 東北大学 データシナジー創生機構
- 豊田工業大学総合情報センター
- 名古屋経済大学 情報センター
- 名古屋産業大学・名古屋経営短期大学 図書館
- 名古屋市立大学 総合情報センター
- 藤田医科大学 図書館
- 名城大学附属図書館
- 工学院大学 学術情報センター工手の泉

公立大 **14** % , 私立大 **43** %

短期大学 **3** 校

# コンソーシアムの活動（1）：セミナー開催

## • セミナーの定期開催

### 1. 会員向けセミナー主催

#### • **第1回 セミナー（12/6）※国内外の動向**

- オープンサイエンスの潮流
- 研究データエコシステム構築事業とNII RDC

#### • **第2回 セミナー（3/21）※ポリシー・ガイドライン**

- 個人データなどの研究データの法と倫理
- データポリシー策定の勘所

#### • **第3回 セミナー（6/7）※機関リポジトリ**

- 名古屋大学学術機関リポジトリの運用について
- 研究データをより見つけやすくするためのメタデータ変換と機関リポジトリへの登録

#### • **第4回 セミナー（9/10）※DMP**

- 研究データ管理計画（DMP）作成支援ツール
- 研究データ管理の取り組みとDMP作成支援



知識・ノウハウ  
の獲得

# コンソーシアムの活動（2）：推進支援

## ・チーム派遣による推進支援

人材・成果の  
共有

### 1. データポリシーの策定支援

- ・ 支援者を派遣し策定過程を伴走
- ・ 全国ポリシーを調査し策定に活用
- ・ 策定後に向けた行動計画の草案
- ・ 2023～2024年度：**6** 機関

ポリシー項目	該当数
目的	◎
データの定義	◎
適用範囲	△
原則	△
研究データの管理	○

ポリシーの分析と利活用

### 2. 講師の派遣

- ・ 会員機関が主催するFDなど講演会に講師を派遣
- ・ 2023～2024年度：**3** 機関

### 3. 構成員の実態調査・分析支援

- ・ AXIES 雛形を用いた学内アンケートの実施・分析支援
- ・ 2023～2024年度：**3** 機関

# コンソーシアムの活動（２）：ポリシー策定支援

- 会員機関の整備状況に基づき実施
  - **タイプⅠ**）データポリシー（**基本方針**）
  - **タイプⅡ**）データポリシー（**実施方針**） or **ガイドライン**
- 支援期間（約**3**か月）で「ポリシーの策定」から「行動計画案」までの作成を支援

#	項目	準備期間	1か月目	2か月目	3か月目	
1	事前準備	支援対象の選定 作成支援の準備				
2	ヒヤリング 意見交換など		1	2	3	4
3	研究データポリ シー案などの整理		ポリシー案・行動計画案・検討資料等の作成			
4	ポリシー案の 策定過程の記録				アーカイブ作業	

# コンソーシアムの活動（3）：事例の共有

## • 会員機関間の情報共有

### 情報交換会の定期開催

- **第1回 情報交換会**（3/21）
- **第2回 情報交換会**（6/7）
  - 2023年度支援事業の実施期間の事例共有（2機関）
- **第3回 情報交換会**（9/10）

## • トピック

- 会員機関の実施体制・状況の共有
- ポリシー策定の進行状況
- 会員機関からの質疑応答
- コンソーシアムへの要望、など



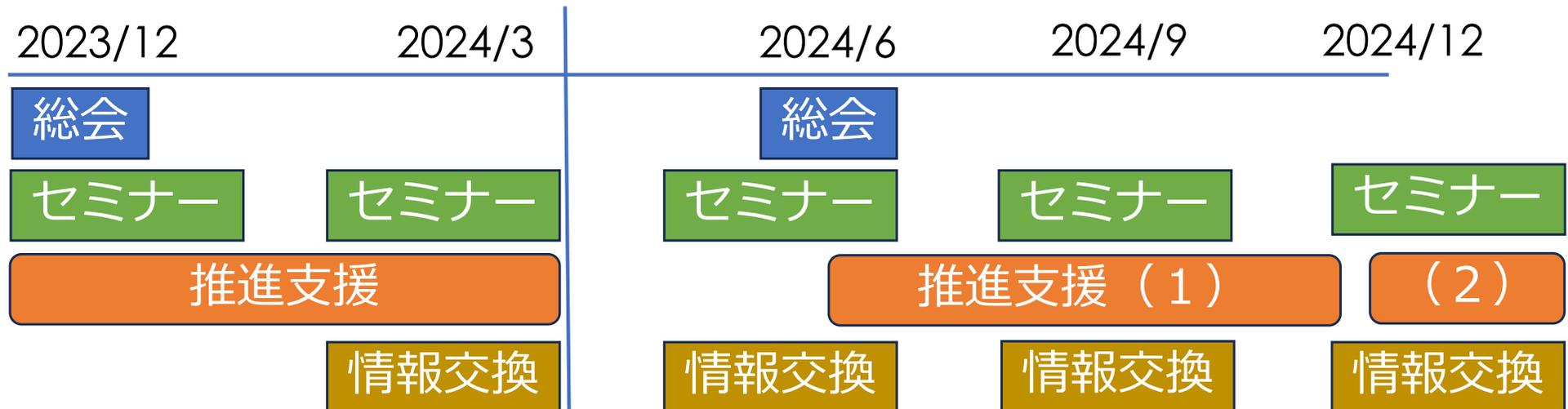
事例・課題  
の共有



# コンソーシアム活動の現在と今後

- コンソーシアム発足から現在まで

- <https://rdm.nagoya-u.ac.jp/group/consortium/>



- 現在からの展開

- NII-RCOS と 会員機関 との対話 (NIIデータ基盤の普及) ※本日
- ガイドライン策定の支援 (エコ事業の成果の展開)
- コンソーシアム間連携 (大学連携の成果の集約と共有)

会員機関の皆様からご意見を頂き企画していきます

## 研究データエコシステム東海コンソーシアム

【会員】 ※ 東海地域に限定しません

- **正会員**：大学，研究所等の学術機関
- **準会員**：上記学術機関に属する部署



【会費】 不要

【活動予定】 活動の継続を第2回総会（6/7）で承認

【入会方法】 （随時受付）

- **入会申込書**をメールでお送りください
  - 詳細は、名古屋大学RDMのWebサイト  
（<https://rdm.nagoya-u.ac.jp/group/consortium/>）から

RDMの推進に関心のある学術機関ならびに部署の  
皆様のご入会をお待ちしております